



vol.4



WEB



Facebook

発行：佐賀県農産課

<http://www.pref.saga.lg.jp/list00069.html>



A-noker (ええのうかー)
代表者 安東浩太郎さん

農業と太良町への熱い思いを支えに。 新規就農で作り上げた『森のアスパラ』



新規就農者が挑んだ、 常識破りのアスパラガス栽培

「よかったら食べてみて」。ビニールハウスの中で差し出されたのは、収穫したてのアスパラガス。生のまま頭からかじると、シャキッとしたさわやかな歯ごたえのあと、口の中にあふれるみずみずしさとともに、甘さがふわりと広がりました。ここは、佐賀県太良町の山間地。ミカン畑に囲まれた山道を登った先に畑があります。

一般的には平地で栽培されるアスパラガス。その栽培に山地で挑み、ブランドアスパラガス『森のアスパラ』を完成させたのは、A-noker (ええのうかー) の代表、安東浩太郎さん(38)。実は農業を自営し始めてまだ約5年の新規就農者です。現在、ビニールハウス14棟で、年間約10トンを出荷しています。味の濃さと甘さ、そして、抜群のみずみずしさが評判を呼び、地元農協に出荷するほか、食材にこだわる関東の八百屋や宿、福岡のフレンチレストランなどに直売。インターネット直売も行い、個人消費者の間にも、年々ファンが増えています。

裏面へ続く・・・

TOPICS



佐賀県農業大学校では、平成30年度入学生を募集します！

佐賀県農業大学校で、農産物の生産から加工、流通・販売、マーケティングまでを一貫して学び、高い経営管理能力を備えたプロ農業者を目指しませんか。募集課程や募集定員、願書受付期間や選考方法など、詳しくは佐賀県農業大学校にお尋ね下さい。
問い合わせ先、申し込み先：佐賀県農業大学校 TEL 0952-45-2144



誰もやっていないことに 挑戦してこそつんだ成果

農業法人を退社後、最初の1年は、農作業ができない事情がある生産者を手伝って給料をもらう、農協の「みどりの応援団」の仕事しながら、太良町で家と農地探し。「その時、いろんな生産者さんと知り合えた。ミカン生産の苦労も目の当たりにして、考えたのが価格も安定しているアスパラガスの栽培でした」。

そして、農地として紹介されたのが、現在の土地。耕作放棄地となっていたミカン畑でした。「最初は、山でアスパラガス作りなんてする人はいないと言われました。でも、価格も安定しているし、新しいことをやってみようと思ったんです。アスパラガスを育てる技術や、ハウスを活用し、狭い土地で収量をあげる方法は、栽培しながら学んでいきました」。

アスパラガスは、最初の1年は株づくりのみで収穫はできません。2年目は、当時9棟あったビニールハウスそれぞれに違う肥料を試すなど、通常の約4倍の経費をかけて試行錯誤。地元海産物を使って作ったオリジナルの有機肥料に手ごたえを得て、3年目に安定した収穫を得るまでになりました。その間の生活を支えたのは、国からの就農給付金です。「家も、空き家バンクに登録されていたところを借りています。長男の昊里(そらり)は太良町生まれなので、生まれた時には町から15万円のお祝い金も頂きました。太良町は自然も豊かで、子育てするには本当にいいところです」。

もっと詳しいお話はwebサイトをチェック！



フランス料理店でも使われている
「森のアスパラガス」



「新規就農者にも技術を伝えたい」
と安東さん

アンケートにお答えください！

「SAGA アグリ之星」は、サイトとフリーペーパーで、次世代の佐賀農業を担う人材をご紹介します。今回のインタビューに関する感想や、佐賀の農業への思い、また、フリーペーパーやサイトに掲載する佐賀の農業情報や、農業に従事している人について、どんなことを知りたいかなどのご要望をお寄せください。

アンケートは、「SAGA アグリ之星」サイトで、スマートフォンからもお答えいただけます。右側のQRコードからアクセスしてください！



SAGAアグリ之星
アンケートページ